

### 健康経営優良法人2019には県内から69法人が認定

健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、経済産業省が特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制

# 県内に広がる健康経営

## 四日市事務機センター (四日市市)



家族全員で予防接種を受診する様子

多くの先進的な社内制度を取り入れる中で、2018年に健康経営優良法人を取得した株式会社四日市事務機センターでは、さらなる社内環境の改善に向け昨年から新たな取り組みを始めた。

### インフルエンザ 予防接種制度で成果



株式会社 四日市事務機センター 佐野 智成社長

これまで行っていた社員の扶養家族の健康診断受診制度に加え、インフルエンザの予防接種についても社員の家族全員の受診費用を全額会社が負担。予防接種100%を目指して、医療機関の協力を得て、事務所内での予防接種を実施している

また、有給休暇を毎月1日以上取得すること、月1万円の手当を支給する有給消化手当。昨年4月から始まった年5日以上の有給休暇の取得の義務化に伴い、社員自ら進んで有給が取りやすくなるようにと制度をスタートさせた。昨年1年間の有休取得率は94.4%まで向上したことから、その成果は顕著にみられている。 本年1月には新社屋の完成も予定、さらなる働きやすさを目指して佐野社長の取り組みは続く。



社内で血液年齢を計測する様子

る。過去2年間は、インフルエンザ感染者が0人と効果が出ていると佐野社長は話す。

さらに、健康経営の取り組みの第一環として毎年参加しているハーフマラソン会場

## 宝輪 (鈴鹿市)



株式会社宝輪 人事総務部・経理部 主任 健康委員長 山崎 順菜さん

### 健康経営が コミュニケーションの きっかけに

2018年に健康経営優良法人の認定を受けた宝輪はさまざまな取り組みを進める。3月に1回発行している「健康だより」の中で募集を募り、スマートウォッチを無料支給しているのもその一例。健康作りを目的に、歩数・血圧・心拍や睡眠の質などが計測でき、アプリを通して健康を管理ができる。また、健康診断を全従業員が受診した上で



スマートウォッチ

結果に応じて面談を行い、問題が見られた従業員には会社として再検査を推奨し、その受診率も100%を実現している。

それ以外にも、同社がスポンサードする県内のサッカーチーム「鈴鹿アンリミテッドFC」のトップコーチを招き、ストレッチ教室の様子



ストレッチ教室の様子

の取り組みとして、従業員とその家族の健康を大切にするための「介護サポート」の制度化がある。同社に相談窓口を設置し、従業員が家族の介護を行う際に就業規則で定められた最低限の支援にとどまらず、職場の変更や自己負担額の補助、介護手当の支給などを行うことで、介護が理由となる離職を防ぐことを目的としている。山崎さんは「健康経営の推進は、従業員同士のコミュニケーションのきっかけにもなっており、多くの取り組みを行う中でさらなる周知と充実を図りたい」と話す。